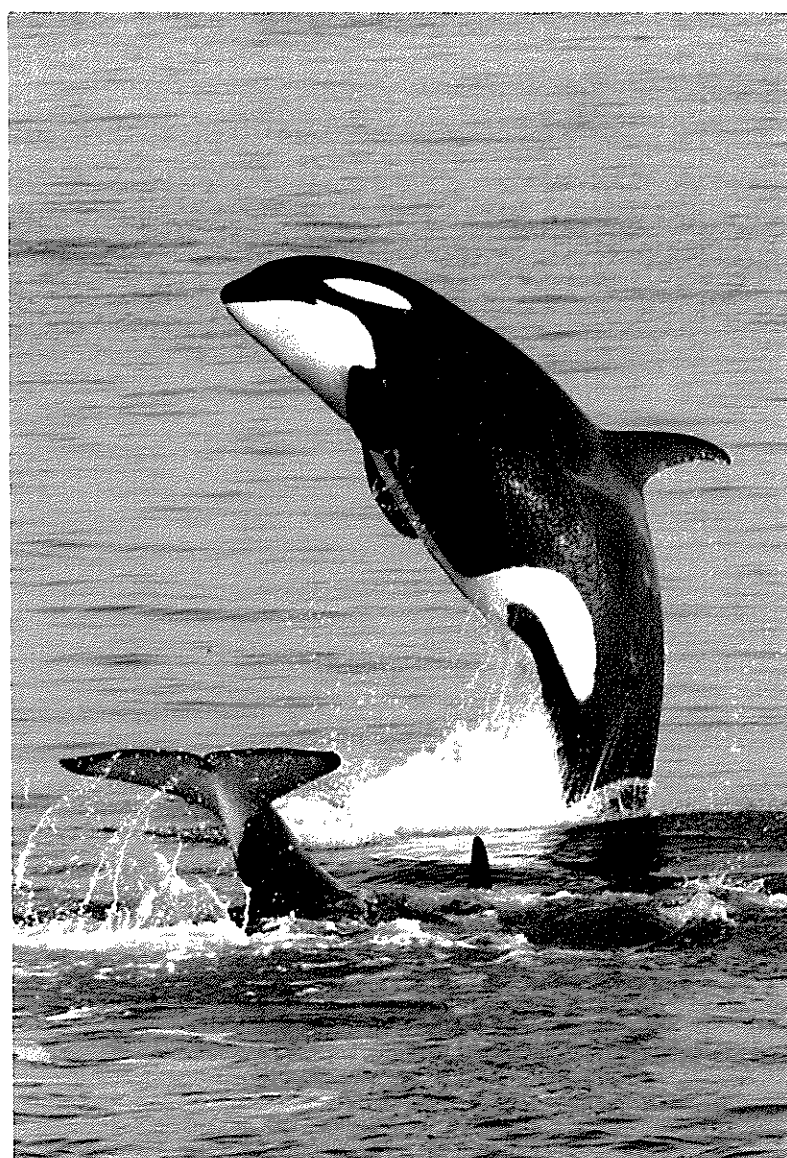


平成29年度  
羅臼町幼小中高一貫教育研究会紀要  
羅臼の教育 第45号



羅臼町幼小中高一貫教育研究会

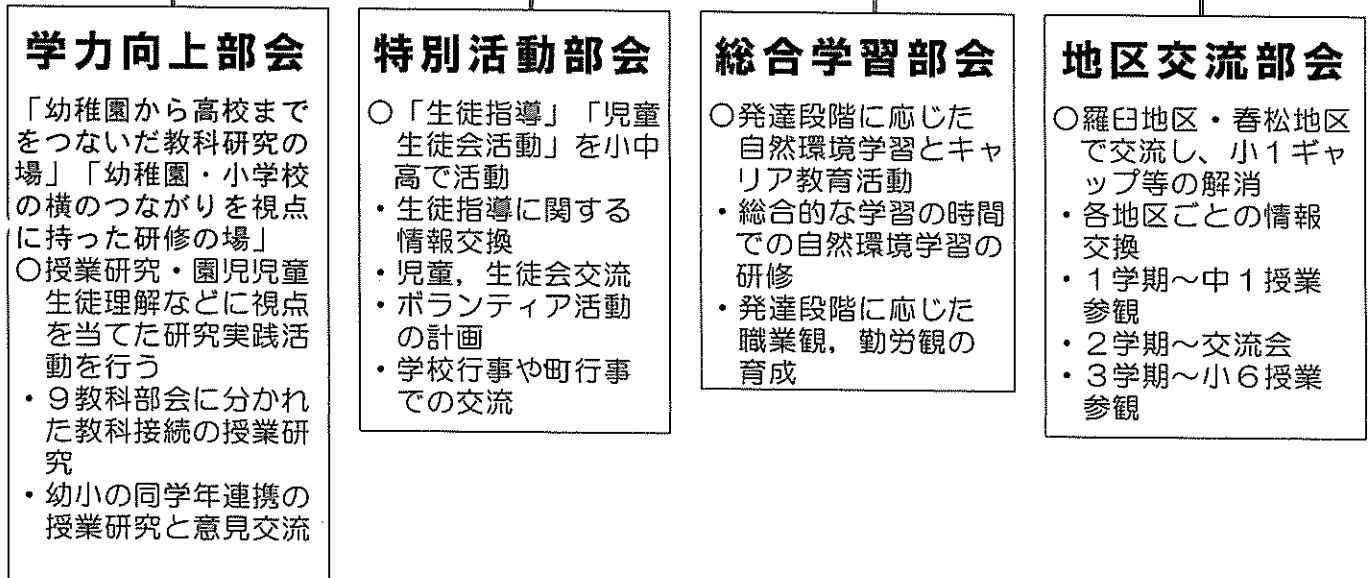
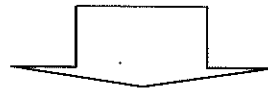
# 羅臼町幼小中高一貫教育研究会 全体像

## 羅臼町幼小中高一貫教育研究会の基本理念

豊かな知床の自然に恵まれた羅臼町で園児・児童・生徒の個性や可能性の伸長を図り、確かな学力の定着と生活力の充実を目指すとともに、ふるさと羅臼町に誇りを持つことができる人材を育成する。

## 一貫研の目指す子ども像と教師像

- |      |   |
|------|---|
| 子ども像 | <ul style="list-style-type: none"><li>・望ましい学習習慣や強い意欲を持って学び、確かな学力と生活力を身につけることができる子ども</li><li>・思いやりの心や豊かな感性を持ち、ふるさとへの愛情と誇りを抱き、責任感と自立の精神にあふれた子ども</li></ul> |
| 教師像  | <ul style="list-style-type: none"><li>・羅臼町の教育のために高い研修意欲を持ち、子どもに確かな学力と生活力を身につけさせる教師</li><li>・幼小中高が主体的に連携しながら、指導力と実践力などの専門性を高める教師</li></ul>               |



## 羅臼町一貫教育指導法研究会

○教職員の資質向上を目指し年1回、小中高5校輪番制で開催

## 総合学習部会

- 知床学 (in, about, for 知床)
  - ・クマ学習, 生態系学習, 外来種 (ハチ) 学習
  - ・知床学士検定
  - ・ユネスコスクール発表会
- 郷土の遺跡・観光・産業
- 地域を考えるキャリア教育
  - ・職業体験学習(インターンシップ)

## 学力向上部会

- 学力向上, 体力向上に繋がる研修
  - ・幼小中高一貫教育学習指導法研究会
  - ・幼小中高合同研修会
  - ・教科部会

## 特別活動部会

- リーダーシップの育成
  - ・生徒会交流
  - ・リーダー研修会
- ボランティア活動
  - ・小中高合同漁港清掃
- 部活動交流
- 豊かな人間性を育むキャリア教育

## 目指す姿

- 【豊かで健全な人間形成】
- 羅臼の魅力を探る力  
〈〈総合学習部会〉〉
- 羅臼の魅力を高揚する力  
〈〈特別活動部会〉〉
- 羅臼の魅力を発信する力  
〈〈学力向上部会〉〉

## 関係・連携機関

- 北海道教育研究所  
(フリープラン、合同研修会等)
- 北海道教育庁根室教育局
- 日本ユネスコ協会連盟

## ユネスコスクール

(総合学習部会・特別活動部会)

- ユネスコスクール研究発表会
- ESD教育の充実

# 羅臼に育ち、羅臼を育てる人材育成

## 総合学習部会

「地域の魅力を知る」

- 知床学 (in, about, for 知床)
  - ・クマ学習, 生態系学習,
  - 外来種 (ハチ) 学習,
  - ・知床学士検定
  - ・ユネスコスクール発表会
- 郷土の遺跡・観光・産業
  - ※理科・社会部会協力
- 地域を考えるキャリア教育 (インターンシップ)

## 特別活動部会

「地域の魅力を高める」

- リーダーシップの育成
  - ・生徒会交流
  - ・リーダー研修会
- ボランティア活動
  - ・小中高合同漁港清掃
- 部活動交流
- 豊かな人間性を育むキャリア教育

## 学力向上部会

「地域の魅力を発信する」

- 特に国・数・英の強化、学力、プレゼンテーション能力の向上
- 体力向上
- 各種研修会
  - ・幼小中高一貫教育学習指導法研究会
  - ・幼小中高合同研修会
  - ・教科部会

### 【総合学習部会】「羅臼の魅力を探究する力の育成」

世界自然遺産の地に住む子ども達は想像以上に羅臼の魅力を知らない。そのため、無い物ねだりや都市部の便利さに対する憧れが先行し、「自然豊かな羅臼」の価値について考えさせ、それを守り維持する重要性に気付かせなければならない。総合学習部会では羅臼という地域の素晴らしさを自覚させ、それを誇りに思う子ども達を育成することが急務である。

そのためには、羅臼の魅力と同時に維持していくことの困難さや現在、抱えている問題点についても理科や社会科と連動しながら理解させ、それらを解決する能力についても育てたい。

また、特別活動部会とも連携し、地域を誇りに思う地域ぐるみの「豊かな人間性を育むキャリア教育」を推進していく。

### 【特別活動部会】「羅臼の魅力を高揚する力の育成」

将来、自ら考え、自らの手で羅臼を発展させるためには各分野においてリーダーシップを発揮できる人材育成が不可欠である。羅臼町で行われる各種祭典に限らず、地域行事や地域自治活動等において率先して行動することが町全体を盛り上げ発展させることにも繋がる。そのために、話し合いの方法や議題のまとめ方などのノウハウを習得させ、建設的な意見を交流できる基礎を養う必要がある。

### 【学力向上部会】「羅臼の魅力を発信する力の育成」

上記二つの部会を支えるものは学力に他ならない。教師のプライドとして研修を深めるのはもちろんのこと、異校種間との連携なくして「一貫教育」は存在し得ない。羅臼の魅力を発信するために文章作成能力等が含まれる国語力、自分の考えにより説得力を持たせるため算数・数学で必要とされる論理的思考もまた習得させる必要がある。また、昨今の羅臼を訪れる海外からの観光客や研究者に、国語・算数・数学で培った力で羅臼町の魅力を発信するための英語力の強化は今後の最も大きな課題である。小学校中学年への外国語活動の導入、高学年の教科化を見据え、それぞれの立場で何ができ、どのように連携し、英語をコミュニケーションの手段の一つとして習得させるためにも大きな一本の道筋を作らなければならない。

また、体力向上を目指し、異校種間で繋がりを絶やさず、健康増進も含む運動の継続を目指したい。

# 一貫教会報

平成29年6月1日

第1号

羅臼町幼小中高一貫教育研究会  
(事務局：羅臼高校)

## 羅臼町幼小中高一貫教育研究会 組織図

今年度の体制が確定いたしました。学力向上部会と教科部会の連携や校種間連携、地域別交流等の各部の活発な活動よろしくお願いいたします。

平成29年度「羅臼町幼小中高一貫教育研究会」組織

平成29(2017)年度

幼小中高一貫教育協議会		
会長	羅臼町教育委員会教育長	山 崎 守
副会長	羅臼高校校長	升 田 重 樹
	春松小学校校長	小 川 一
	羅臼小学校校長	河 原 寛 孝
	羅臼幼稚園長	若 山 幸 子
理 事	春松幼稚園園長	工 藤 崧
	羅臼中学校校長	相 澤 要
	春松中学校校長	谷 村 靖 志
	PTA代表	田 中 英 輔
事務局長	羅臼高等学校PTA代表	小 野 哲 也
	羅臼高校教頭	島 村 真 幸
事務局次長	羅臼町教育委員会教育指導主幹	山 本 啓 治
	春松小学校教頭	中 川 公 孝
会 計	羅臼高校事務長	脇 坂 博 行
	羅臼小学校事務職員	林 英 樹
会計監査	羅臼小学校校長	河 原 寛 孝
	羅臼町教育委員会学務課長	大 沼 良 司

推 進 委 員 会		
委員長	羅臼高校校長	升 田 重 樹
副委員長	羅臼小学校校長	河 原 寛 孝
	春松小学校校長	小 川 一
	羅臼中学校校長	相 澤 要
	春松中学校校長	谷 村 靖 志
委 員	羅臼幼稚園園長	若 山 幸 子
	春松幼稚園園長	工 藤 崧
	羅臼高校教頭(事務局長)	島 村 真 幸
	春松小学校教頭(事務局次長)	中 川 公 孝
	羅臼町教育委員会教育指導主幹(事務局次長)	山 本 啓 治
	羅臼町教育委員会自然環境教育主幹	金 澤 裕 司
	羅臼町教育委員会学務課長兼社会教育課長	大 沼 良 司
	羅臼町教育委員会学務課長補佐	福 田 一 輝
	羅臼町保健福祉課長	太 田 洋 二

事 務 局		
事務局長	羅臼高校教頭(事務局長)	島 村 真 幸
事務局次長	春松小学校教頭(事務局次長)	中 川 公 孝
事務局次長	羅臼町教育委員会教育指導主幹(事務局次長)	山 本 啓 治
事務局員	羅臼小学校教頭	高 橋 健 司
	羅臼中学校教頭	菅 原 晋
	春松中学校教頭	古 賀 勝 利
	羅臼町教育委員会自然環境教育主幹	金 澤 裕 司
	羅臼町教育委員会学務課長兼社会教育課長	大 沼 良 司
	羅臼町教育委員会学務課長補佐	福 田 一 輝
	羅臼幼稚園園長	若 山 幸 子
各校代表	春松幼稚園園長	工 藤 崧
	羅臼小学校代表	森 原 一
	羅臼中学校代表	川 口 大 介
	春松小学校代表	岡 本 啓 貴
	春松中学校代表	横 井 啓 貴
羅臼高校代表	島 嶋 大 志	

総合学習部会			
担当教頭	古 賀 勝 利	春松中	
部会長	横 井 啓 貴	春松中	
副部会長	水 口 拓 真	羅臼小	
部 員	住野谷 彩	春松小	
	今 野 祥 吾	羅臼中	
	岡 田 岳 人	羅臼高	
学校課長補佐	福 田 一 輝	町教委	
自然環境教育主幹	金 澤 裕 司	町教委	

地区交流部会			
担当教頭	高 橋 健 司	羅臼小	
担当教頭	中 川 公 孝	春松小	
部会長	三 上 泰 彦	羅臼中	
部会長	野 戸 朋 子	春松幼	
部 員	井 上 亜 矢	羅臼幼	
	間 光 昭	羅臼小	
	三 春 貴 嗣	春松中	
	佐 々 木 奈 々	春松小	

特別活動部会			
担当教頭	島 村 真 幸	羅臼高	
部会長	島 嶋 大 志	羅臼高	
副部会長	中 島 次 郎	春松中	
部 員	山 口 和 亮	羅臼小	
	吉 田 まり恵	羅臼小	
	高 梨 ゆりか	春松小	
	沼 崎 良 介	春松小	
	堀 井 麻耶子	羅臼中	
	櫻 庭 愛 菜	羅臼中	
	干 代 大 輔	春松中	
	晴 山 俊 一	羅臼高	
	学務課長	大 沼 良 司	町教委

学力向上部会			
担当教頭	菅 原 晋	羅臼中	
部会長	川 口 大 介	羅臼中	
副部会長	佐 々 木 貴 哉	羅臼中	
部 員	田 中 寿 子	羅臼幼	
	米 井 宏 壽	春松幼	
	森 原 一	羅臼小	
	岡 本 啓 貴	春松小	
	四十物 一 史	春松中	
	高 橋 豊	羅臼高	
	國 語	四十物 一 史	春松中
	社 会	川 口 大 介	羅臼中
	算数・数学	後 藤 克 哉	春松中
	理 科	佐 藤 知 理	羅臼高
英 語	岡 本 啓 貴	春松小	
体 育	佐 々 木 貴 哉	羅臼中	
芸 術	仲 々 悠 輔	羅臼中	
特別支援	三 春 貴 嗣	春松中	
教育指導主幹	山 本 啓 治	町教委	

幼児教育部会		
部 長	戸 田 拓 人	羅臼幼
副部長	佐 藤 華 奈 恵	春松幼

護 護 部 会		
部 長	端 谷 友 紀 子	春松小
副部長	土 屋 真 穂	羅臼小

事 務 部 会		
部 長	林 英 樹	春松小
副部長	沼 山 聖 野	羅臼小

一貫教会報 各部活動計画 第2号 平成29年6月8日 事務局:羅臼高校

部会名	役員	活動内容	活動計画
学力向上部会	部長	川口 大介 羅臼中学校	5月18日 幼小授業研
	副部長	佐々木 貴哉 羅臼中学校	6月8日 中高授業研
		記録	佐々木 貴哉 羅臼中学校
総合学習部会	部長	横井 啓貴 春松中学校	○総合学習部会運営事業をより円滑にする  ○ユネスコスクール・中高合同講演会の準備・運営  ・ハチ・クマ生態系学習(環境省、自然教育主幹との内容確認) ・中高合同講演会(10月24日) ・ユネスコスクール発表会(12月9日)に向けて部会を必要に応じて行う。
	副部長	水口 拓真 羅臼小学校	
	記録		
特別活動部会	部長	鳥潟 大志 羅臼高校	4月 ふるさとキャリア教育について(知床開き豊漁の舞への参加)小6中1～3の児童生徒一貫合同清掃活動について生徒指導交流
	副部長	中島 次郎 春松中学校	6月 生活のきまり検討
	記録	堀井麻耶子 羅臼中学校	9月19日 一貫教育合同清掃
			通年 部活動交流について
地区交流部会(羅臼地区)	部長	三上 徳彦 羅臼中学校	5月18日 一斉研参観(羅小) 5月19日 懇親会(いこい)
	副部長	井上 亜矢 羅臼幼稚園	6月28日 羅臼中1年生授業参観(羅中)
		記録	間瀬光昭 羅臼小学校
地区交流部会(春松地区)	部長	野戸 朋子 春松幼稚園	10月25日 羅臼地区交流会(15:30～羅小)
	副部長	三春 貴嗣 春松中学校	3学期 2月羅臼小6年生授業参観、羅臼幼稚園5歳児クラス午後保育参観
		記録	佐々木 奈々 春松小学校
		6月26日 幼小中交流会①(春松中学校1年生)	
		1月 幼稚園参観	
		2月8日 幼小中交流会②(春松小学校6年生)	



部会名	役員		研究主題及び活動内容	活動計画		
国語	部長	四十物一史 春松中学校	【研究主題】 主体的対話的な活動を通して自らの考えを深める授業の工夫 【活動内容】 ・授業研、指導案検討を通し、指導力向上を図る。 ・校種の連携を意識した教科指導を交流する。	6月8日	第1回中高一斉研修会(授業研春松中)	春松中
	副部長	櫻庭愛奈 羅臼中学校		7月	指導案検討	
	記録	佐々木奈々 羅臼小学校		9月	第2回一斉研修研(授業研 羅中)	羅中
					漢字検定案内実施6月16日、10月20日、2月9日	
社会	部長	川口大介 羅臼中学校	【研究主題】 アクティブラーニングを意識した授業づくり 【活動内容】 思考力を高める授業の工夫	6月8日	第1回中高一斉研修会	羅高
	副部長	千代大輔 春松中学校		11月28日	授業研、今年度の反省	羅中
	記録	岩井洋美 春松小学校				
算数・数学	部長	後藤 克哉 春松中学校	【研究主題】 基礎基本の定着のための授業力の向上 【活動内容】 ・授業研究2回 ・乗り入れ授業の実施(羅臼高校教員が中学校訪問し授業協力)	5月18日	幼小一斉研	羅小
	副部長	小林大介 羅臼中学校		6月8日	中高一斉研	羅中
	記録	沼崎良介 春松小学校		6月9日～ 9月5日 12月13日	春中へ高校へ授業協力 羅中へ高校へ授業協力 第2回研修会	春中 羅中 春中
理科	部長	佐藤 知理 羅臼高等学校	【研究主題】 ①小中高の系統性を意識した授業づくり②主体的対話的な活動を通じた深い学び③羅臼の自然をいかした授業づくり 【活動内容】授業研他	6月8日	春中授業研	春中
	副部長	堀井麻耶子 羅臼中学校		6月10日	ホエールウォッチング	
	記録	白石雅志 春松中学校		11月5日 11月17日 12月	子ども祭参加 羅高授業研 反省	羅高
英語	部長	岡本啓吾 春松小学校	【研究主題】 児童生徒が主体的かつコミュニケーション型な授業づくり 【活動内容】 ・積極的な授業公開 ・スピーチ活動等を取り入れた授業協議	5月18日	第1回一斉研修会	羅小
	副部長	岡田 岳人 羅臼高校		6月8日	第1回一斉研修会	羅中
	記録	晴山俊一 羅臼高校		9月22日 11月1日 11月13～	学習指導法研究会 授業公開・教科部会 授業公開・教科部会	羅小 春中 羅高

部会名	役員	活動内容	活動計画			
体育	部長	佐々木 貴哉 羅臼中学校	【研究主題】 自信がつく体育学習の充実 【活動内容】 ・陸上教室 ・授業研究(2回)	6月8日	授業研究(一斉研)	
	副部長	照井 康之 春松中学校		9月	授業研究	中学校
				9月14～	小学生の陸上競技指導	各小
記録	伊澤亮 羅小学校					
芸実	部長	仲 悠介 羅臼中学校	【研究主題】 言語活動の充実 【活動内容】 ・公開授業(羅高 音楽) ・外部講師の講演			
	副部長	進藤祐香 羅臼高校				
	記録					
特別支援	部長	三春貴嗣 春松中学校	【研究主題】 子どもたちの学びと育ちのために～一人ひとりの可能性を伸ばし、自立と社会参加を目指して～ 【活動内容】 ・実践交流(ビデオ)・指導案検討 ・自主研修会(7.11.2月)	5月18日	第1回幼小一斉研修会	羅小
	副部長	福田好美 春松小学校		6月8日	第1回中高一斉研修会ビデオ交流16:00～	春中
				7月	自主研修会18:30～	春中
				7月26日	根特研	根室市
記録	間淵光昭 羅臼小学校	11月.2月	自主研修会	羅中		
			11月22日	実践交流ビデオ交流16:00～	羅中	
養護	部長	端谷友紀子 春松小学校	【研究主題】 養護教諭の職務向上を目指して 【活動内容】 ・日常執務の交流(健康診断・感染症予防) ・保健師との交流	5月22日	養護部会	春松小
	副部長	土屋 真穂 羅臼小学校			・感染症の予防について、日常の執務交流	
				9月	保健師との交流	未定
記録	比留間麻友 羅臼高校	11月	養護部会	未定		
			2月	保健師との交流	未定	
事務	部長	林 英樹 春松小学校	【研究主題】 統合に向けた事務作業 【活動内容】 ・文書分類表の作成 ・実務についての質疑応答	4月27日	役員の選出 活動内容の検討	羅小
	副部長	沼山 聖野 羅臼小学校		5月16日	一貫教事務サークル	羅小
				6月16日	一貫教事務サークル	羅小
				7月19日	一貫教事務サークル	羅小
				9月11日	一貫教事務サークル	羅小
				10月18日	一貫教事務サークル	羅小
記録	菅原 祐人 春松中学校	11月17日	一貫教事務サークル	羅小		
			1月24日	一貫教事務サークル	羅小	
幼稚園	部長	戸田拓人 羅臼幼稚園	【研究主題】 生きる力の基礎を育む幼児教育の充実～幼児の主体的な活動としての遊びを支える保育者の役割～ 【活動内容】 ・教師の資質向上のための研修を深める ・羅臼町の幼児教育の充実を図る	4月27日	羅臼町幼小中高一貫教育研究会	羅小
	副部長	佐藤華奈恵 春松幼稚園		5月18日	一貫一斉サークル	羅小
				6月～	幼稚園会・保育研修(情報交換)	羅幼
				9月～	幼稚園会・保育研修(文献学習)	春幼
				12月～	幼稚園会・保育研修(一園化に向けて講演会)	羅幼
				2月～	幼稚園会・保育研修(ビデオ研修、年間反省)	春幼
記録	部長・副部長兼務					



# 一貫教会報

平成30年2月1日  
第3号  
羅臼町幼小中高一貫教育研究会  
(事務局：羅臼高校)

今年度の取組 今年度の取組をまとめました。

## 「小中校一貫ふるさとキャリア教育推進事業」平成27年～29年

平成19年度から中高一貫教育、平成24年度から幼小中高一貫教育を実施しているなか、2年半地域の未来を担う人材育成のため、世界に誇る大自然や環境また水産業を中心とした産業などの教育資源を生かしたキャリア教育に取り組みました。

小学校（羅臼小・春松小）、中学校（羅臼中・春松中）と羅臼高校において「地域大好き！プロジェクト」と高校において「子ども大好き！プロジェクト」を柱とした取組を実施しました。

この活動には地域の人々や関係機関からも多くの支援やご協力をいただいております、積極的に関わることで地域が元気になることもねらいの一つとしています。

【地域大好きプロジェクト】 地域を愛する・交流を深め学び合う

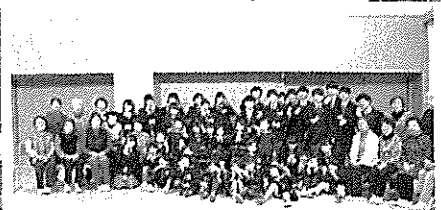
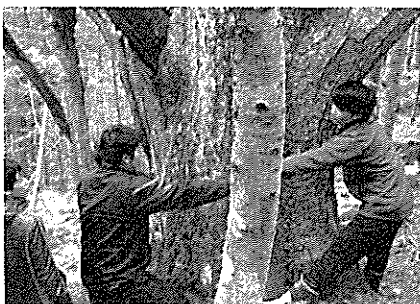
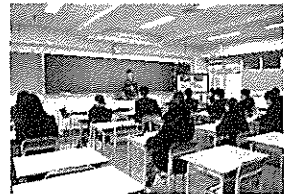
○地域の人達との触れあいや羅臼町を訪れた人と交流を持つことで郷土愛の育成を目指す。

（町祭事参加・生徒会交流・学習ホラティフ・他校交流・豊漁の舞披露・北方少年交流事業）

○「ふるさと羅臼再発見」と題して地域の魅力を発信している人の話を聞く。

（講演会・施設見学・パンフレット作成・生態系学習・ふるさと探検隊・知床キッズ）

○インターンシップの実施と発表会（中2、高2生全員、学校祭等で発表）



## ユネスコスクール研究発表会 12月9日(土) 春松小にて

〈羅臼小学校〉5年生「羅臼昆布の秘密を探れ!～羅臼の昆布はなぜ高級?～」

〈春松小学校〉4年生「羅臼のいいとこ、再発見!!」

〈羅臼中学校〉2年生「職場体験で学んだこと」小学校・薬局

〈春松中学校〉2年生「職場体験で学んだこと」消防署・ドラッグストア

〈羅臼高等学校〉「羅高祭2017 ～19年ぶりに復活した行灯行列」

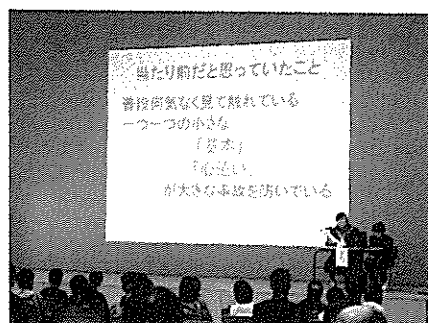
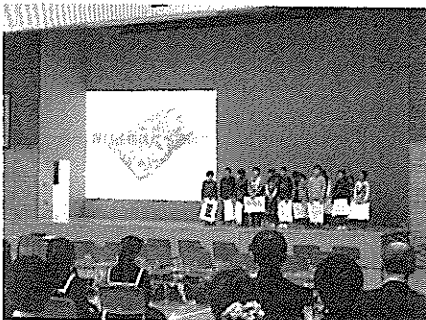
「私たちの知床学」「平和スタディツアー2017ヒロシマ」報告

## 北海道キャリアサミット 10月31日(火) 札幌ライフオートにて

ソスケ地区で通行止めになり、札幌まで行けるか間際までわかりませんでした。通行止め解除となり、何とか札幌まで無事たどり着くことができました。小学生と中学生と高校生と一緒に出掛けることは初の体験でした。前日も当日も練習をして羅臼町の取組を堂々と発表しました。

熊学習(人とヒグマの共存、ヌブとカナのお話)、羅臼町のPR活動(観光、自然、食のパンフレット作成)コミュニケーション力を高めるため札幌駅、千歳空港など様々なところで配付をしました。また地域密着型の取組(豊漁の舞、創作料理プロジェクト、水産教室)を発表しました。当日の様子がYou Tube(H30.3.31まで)にて配信されています。是非ご覧ください。

地域PR活動では漁業協同組合、商工会の協力による昆布と海洋深層水でつくった塩(ラウソップ)を配布し、羅臼町の魅力を発信してきました。生徒たちはこの会で「羅臼町」と何回も宣伝をしていたことがとても印象に残りました。



# 根室管内ふるさとキャリアだより

## ～小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業～

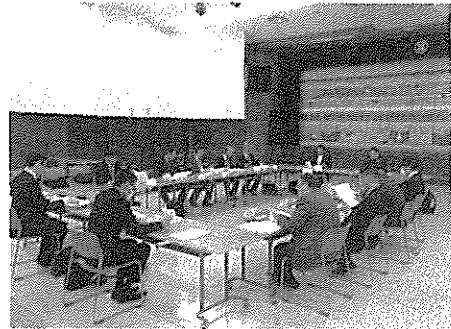
根室教育局（第1号）平成28年2月9日発行

### 平成27年度第1回根室管内地域未来づくり会議を開催しました

平成28年2月2日（火）、羅臼町公民館において、根室管内第1回地域未来づくり会議を開催しました。

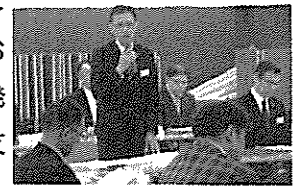
本会議は道教委の「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」の一貫として開催したもので、研究指定校が円滑に事業を推進できるよう各委員から専門的な見地から指導、助言を得ながら、教育局及び町教育委員会との連携を図り、指定校の支援をしていくことを目的としています。

委員はPTAや自治体・経済団体等の代表からなる15名で構成されており、会議に先立ち、委員長に北海道教育大学教授 大森 享 氏、副委員長に羅臼商工会会長 小川 雅勝 氏を選出後、事業の概要及び今後の取組の説明、協議を行いました。



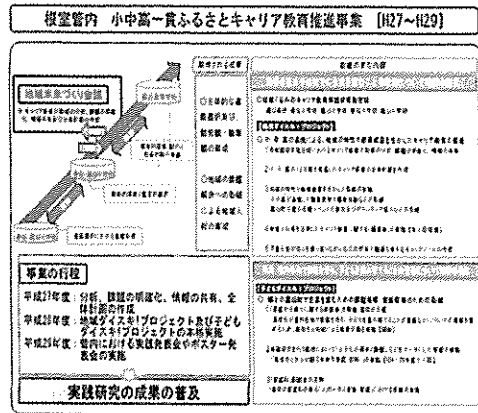
#### ■ 挨拶 根室教育局長 小山 茂樹

子どもたちが地域を担う人材として自立していくことができるよう、望ましい勤労観や職業観、コミュニケーション能力等を育成することが求められており、各学校段階を通じ、すべての教育活動における組織的・系統的な取組や発達の段階を見通した体系的な取組の推進の必要性について述べ、本事業への支援・協力を求めた。



#### ■ 説明 教育支援課長 塩田 直之

- 1 事業の概要（小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業）  
地域ダイスキ!プロジェクト及び子どもダイスキ!プロジェクトなどについて、説明した。
- 2 今後の取組  
キャリア教育の取組の分析、課題及び小・中・高の12年間を見通したキャリア教育の全体計画、地域の特性や教育資源を生かした取組（知床開きへの参画及びボランティア協力や小中高の職業見学や職業体験などの取組の交流等）などについて、説明した。



【小中高ふるさとキャリア教育推進事業 概念図】

#### ■ 協議

- 事業を円滑に推進するため、今後の取組について多くの意見が出されました。
- ・ 社会人として活躍するためには、学力とともにコミュニケーション能力をはぐくむ必要がある。コミュニケーション能力をはぐくむ上で、自分の思いや感じたことなどを書き表すことができるキャリアノートを活用することは有効であると思う。
- ・ 例えば、なぜ羅臼の昆布は高価で取引されるのかなど、羅臼のことをより良く理解してもらうために体験してほしい職業がある。
- ・ 郷土愛をはぐくむことが大切であり、地域のためにできることは何かという視点をもって本事業を展開することが大切である。

ふるさとキャリアだより

～私たちの町  
羅臼から～ No.2

平成29年2月27日  
根室教育局発行

小中高一貫ふるさとキャリア教育活動報告

## 第6回羅臼町ユネスコスクール研究発表会

日時：平成29年1月23日（月）

場所：羅臼町公民館 大ホール

### 【目的】

羅臼町で学ぶ幼稚園児、小学生、中学生、高校生のすべてが、それぞれの個性と興味・関心に応じて、知床学として学んできたESD（持続可能な開発のための教育）の学習成果を発表交流し、お互いの今後の学習への意欲を一層高める。発表活動を通じて、多面的・総合的に考える力、コミュニケーションを行う力、他者と協力する力、つながりを尊重する態度等の育成を図る。

（第6回ユネスコスクール研究発表会案内リーフレットより）

### 【発表の概要】

- ・グループごとに決めたテーマについて調べ、その内容をクイズ形式にしました。
- ・クマの性格や生態、クマと人々との関わりなどについて、身近な出来事を通して、詳しく知ることができました。
- ・人間の捨てるゴミの問題から、羅臼の自然環境を大切にして生活することについて改めて考えることができました。

羅臼小学校 5年生

羅臼のヒグマと共存

～ヒグマの生態を探れ～



春松小学校 4年生

ふるさと羅臼再発見

～羅臼のみりよくを発信しようと

努力している人々～



### 【発表の概要】

- ・グループごとに、羅臼で活躍している方々との触れ合いを通して羅臼の魅力を再発見しました。
- ・羅臼昆布や大漁旗を利用した商品開発、知床の自然の素晴らしさなどから、自然や漁業への感謝の気持ちや、伝統を生かした物作りの大切さについて学びました。
- ・羅臼の町に誇りを持ち、これからも自然を大切にしていきたいと思いました。

### 【発表の概要】

- ・酪農体験における命の大切さや、保健師における他の人の生涯に関わる責任の重さなどを学ぶ貴重な体験となりました。
- ・実際の職場でしか聞けないお話や体験から自分の将来を考えることができました。
- ・体験を通して、働くとは何かを考える良い契機となり、仕事に対する考え方ややりがい、他人への感謝の気持ちを学びました。

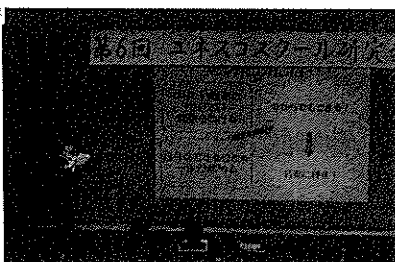
春松中学校 2年生

職場体験学習で学んだこと



羅臼中学校 2年生

職場体験学習で学んだこと



### 【発表の概要】

- ・自衛隊の体験では、国民の命を守る責任感、看護師体験では、患者さんへの気配りや声かけの大切さを学びました。
- ・職業講話や体験を通して、働くとは何かを考え、今の自分が何をすべきなのか明確になりました。
- ・将来なりたい仕事に就くために、今できることを考え、自分の意思で行動することの大切さを学びました。

※ 羅臼高校の発表については、次号で紹介します。



ふるさとキャリアだより

～私たちの町

羅臼から～ No.3

平成29年3月

根室教育局発行

小中高一貫ふるさとキャリア教育活動報告(2)

## 第6回羅臼町ユネスコスクール研究発表会

日時：平成29年1月23日(月)

場所：羅臼町公民館 大ホール

本研究発表会は、羅臼町で学ぶ幼稚園児、小学生、中学生、高校生のすべてが、それぞれの個性と興味・関心に応じて知床学として学んできたESD(持続可能な開発のための教育)の学習成果を発表交流し、お互いの今後の学習への意欲を一層高めることを目的として開催しています。本号では、高校生の発表概要等について紹介します。

### ■「英語」学習で学んだこと～ESD米国教員来校～ 羅臼高等学校 3年生

#### 【発表概要】

■羅臼町のESD(持続可能な開発のための教育)の取組を視察するために来日した、米国ESD推進教員との英語での学習活動の様子について発表しました。

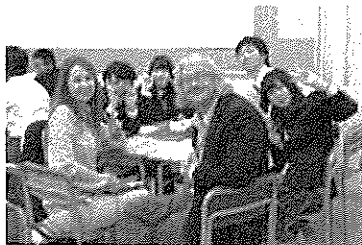
- ・野外観察では、高校生が学校周辺を案内し英語でガイドを行いました。
- ・英語の授業では、羅臼の魅力(羅臼の自然・動物、名所等)について英語でプレゼンを行い自分の考えを伝えました。
- ・プレゼンの後は、「日本の学校生活」「日本とアメリカの違い」等について英語でフリートークを行い米国の先生方と交流しました。



野外観察の様子



英語でのプレゼンの様子



生徒と米国教員とのフリートークの様子



### ■「特別活動」の取組～知床開きにおける小中高が連携して行った活動～ 羅臼高等学校 生徒会

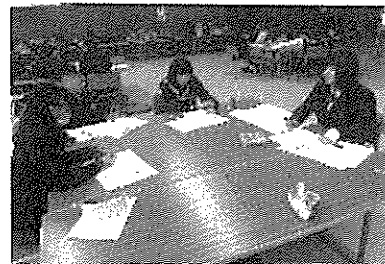
#### 【発表概要】

■羅臼高校、羅臼中学校、春松中学校の3校の生徒会役員で組織する「中高一貫生徒会」の取組について発表しました。

- ・「羅臼町の現状」というテーマで羅臼町の好きなところ改善した方がよいところについて話し合いをしました。
- ・中学生と高校生が話し合っただけで多くの町民が楽しめる羅臼らしいイベント「漁網飛び」を企画しました。
- ・当日のイベント(知床開き)では、高校生の進行のもと、小学生から高校生まで多くの子どもたちが漁網飛びをはじめ、踊りやゴミ拾いなどのボランティア活動に参加しました。



中学生と高校生がともに羅臼町について話し合う研修会の様子



地域のイベント「知床開き」で実施した漁網飛び

## ■ 「自然環境科目」の取組～水産教室の学習から～ 羅臼高等学校 水産教室履修者

### 【発表概要】

- 地域の方を講師として漁業について学ぶ「水産教室」の取組を発表しました。
- ・ 漁業協働組合青年部の方から実際のロープを使った「ロープワーク」を学びました。
- ・ ダイビングの実習では、「羅臼の海が急に深くなっていること」など体験を通して初めて気付いたたくさんの感動がありました。
- ・ 標津町サーモンパークで行った「さけ学習」を通してサケの人工授精の必要性や羅臼町、標津町で水揚げされる魚の種類等について学びました。



ロープワークの実習



羅臼の海でのダイビング



標津町サーモンパークでの「サケ学習」



## ■ 「地域との関わり～チャレンジグルメコンテストの取組から～ 創作料理実践研究メンバー

### 【発表概要】

- 高校と教育委員会が連携し「ふるさと学習」として地域活性化を目的に実施している「創作料理プロジェクト」の取組について発表しました。
- ・ 羅臼漁協や飲食店組合等、多くの方々のアドバイスを受けながら進めたメニュー開発では多くの苦勞がありました。
- ・ 地域イベントに出店するなどの経験を重ね札幌市で行われたチャレンジグルメコンテストに挑んだ時の気持ちや最優秀賞の榮譽を得た時の感動が忘れられないです。
- ・ これまで取組を支えてくれた地域の皆さんに受賞を報告し、あらためて協力していただいた皆さんへの感謝の気持ちが深まりました。



町内飲食店組合、漁業協同組合と連携による学習



地域イベントでの出店



チャレンジグルメコンテスト

北海道教育委員会では、平成27年度から3年間の計画で「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」に取り組んでいます。本事業は、地域の未来を担う人材を育成するため、地方自治体や地域の産業界など関係機関・団体及び、14管内で設置している「地域未来づくり会議」等の支援を受けながら、研究指定校において、家庭教育の大切さや子どもを育てることの意義についての学習や小学校、中学校、高等学校間の体系的なキャリア教育に取り組み、キャリア教育の充実を図るものです。次号では、「地域未来づくり会議」について紹介します。



ふるさとキャリアだより

～私たちの町

羅臼から～

No.4

平成29年7月25日

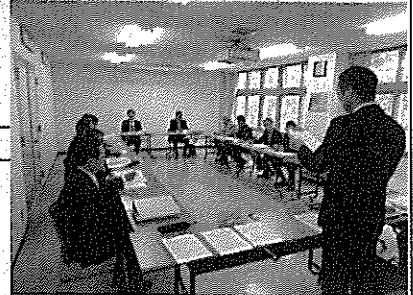
根室教育局発行

### 小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業

羅臼町では、平成27年度からの3年間、地域の未来を担う人を育てるため、世界に誇る自然や産業などの教育資源を活用したキャリア教育に取り組んでいます。この活動には、地域の人々や関係機関から多くの協力をいただいております。この活動には、積極的に関わること、羅臼町全体が一層活気付いていくこともねらいの一つとしています。

## ●平成29年度第1回根室管内地域未来づくり会議を開催しました

平成29年6月16日(金)、羅臼町公民館において、今年度の第1回根室管内地域未来づくり会議を開催しました。事業の円滑かつ効果的な推進に向けて、商工会、観光協会、漁業協同組合、役場、PTA等により構成される委員の方々から意見をいただきました。



#### ■ 説明 2年間の取組の成果について

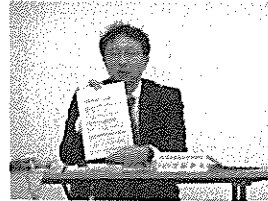
- 町内の事業所や関係機関の協力をいただきながら、水産教室の実施やチャレンジグルメコンテストへの参加及び優秀賞受賞など、教育活動の充実が図られている。
- 町内における体験活動や知床学などにより、ふるさと羅臼への関心を高めるとともに、児童生徒のキャリア発達が進んでいる。
- 羅臼の子どもたちの8割以上が「この町が好き」と答えるなど、「知床開き」等の地域と一体となった取組や地域の教育資源を生かした活動の成果が表れている。

#### ■ 充実に向けて(委員からの意見等)

- 羅臼の次代を担うリーダーを育成することを目的とした取組を進めてほしい。これからの子どもたちは、知識を身に付けるだけでなく、多くの人々と関わりながら実体験を重ねる必要がある。
- すばらしい事業であるので、具体的な取組や子どもの成長等を町民にわかりやすく発信していくことが大切である。
- 関係機関との連携を一層強め、漁業だけでなく医療や福祉等多くの分野で、羅臼に残り、羅臼を支える人材を育てる必要がある。
- 子どもたちと羅臼の未来について話し合う機会を設け、住民の思いを子どもに伝え、子どもの思いを、大人が受け止めることを行っていく必要がある。

#### ■ 助言 北海道教育大学釧路校 宮前 耕史准教授

- 子どもが羅臼に愛着をもっていることが、何よりの成果の表れである。それぞれの立場の方がこの取組の全体像を理解しながら連携していくことが重要である。
- 町外に出た子どもが羅臼に戻ってくるため、「仕事をつくる人を育てる」必要がある。そのためには、次の取組を進めることが大切となる。
  - ・各学校～地域課題を解決する力を育てること。
  - ・地域～移住者からの話を積極的に聞くなどにより、まちの魅力を探し出すこと。



宮前先生には、委員長の大森教授(教育大釧路校)に代わり、オブザーバーとして本会議に出席いただきました。

## ●第56回「知床開き」が開催されました

平成29年6月17日(土)・18日(日)に羅臼港特設会場において、第56回知床開きが開催されました。

この中で、中・高合同による「豊漁の舞(よさこい)」の披露や、吹奏楽部の演奏など、異校種連携の取組を行いました。また、中高一貫生徒会による企画「何回跳べるかな?」という漁網を縄に見立てた長縄跳びの大会を企画するとともに、第4回高校生チャレンジグルメコンテストで大賞に輝いた「およげ!コブスケ～らうすスケソパイ and 昆布ご飯～」を販売するなど、イベントを盛り上げるために様々な工夫を行いました。



中高一貫生徒会は、羅臼町の中学校・高等学校の3校の生徒会執行部が一つになって「羅臼のために何かをしよう」というリーダー研修を経て、この知床開きの企画を考えています。

こうした取組を通して、生徒は「自分はこの町にとって必要とされている」ことや、自分たちの考えたことを具体化することで、羅臼の町を元気にする可能性があることを実感しています。

ふるさとキャリアだより

～私たちの町

羅臼から～ No.5

平成29年10月31日

根室教育局発行

### 小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業

羅臼町では、平成27年度からの3年間、地域の未来を担う人を育てるため、世界に誇る自然や産業などの教育資源を活用したキャリア教育に取り組んでいます。この活動には、地域の人々や関係機関から多くの協力をいただいております。積極的に関わることで、羅臼町全体が一層活気付いていくこともねらいの一つとしています。

## ●平成29年度第2回根室管内地域未来づくり会議を開催しました

平成29年9月11日(月)、羅臼町公民館において、今年度の第2回根室管内地域未来づくり会議を開催しました。事業の円滑かつ効果的な推進に向けて、商工会、観光協会、漁業協同組合、役場、PTA等により構成される委員の方々から意見をいただきました。



### ■説明 前期の活動について

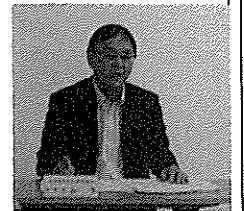
- 「知床開き」において、商品販売や踊りなどの活動に関わった児童生徒の75%が、参加した充実感を感じている。
- 中学生が修学旅行でPRパンフレットを配布したり、児童生徒が「知床開き」におけるPR活動をしたりするなど、児童生徒と地域の方との関わりを重視しながら本事業の活動を行っている。
- 本事業に係るアンケートの結果、高校生の7割5分、中学生の7割、小学生の4割が「地元羅臼のことをよく知らない」「あまり他人に話さない」と回答していたことから、より一層ふるさと教育を充実させる必要がある。

### ■後期の活動に向けて(委員からの意見等)

- 羅臼町は漁業だけでなく、全国でも上位にランキングされる「道の駅」など、観光業も盛んであることから、「知床学」に観光業も取り入れるとよい。
- 外国人も含めた観光客と子どもが触れあうことで、羅臼町の再発見ができる活動を推進する必要があるのではないかと。
- 親が仕事を継がせたくないという現実がある。町外に出て行った子どもたちが、帰ってくるような指導と町づくりが重要である。
- 羅臼町には、商業も工業も建設業もあることを理解し、これらの産業に対する興味を高めていくことが課題である。
- 高校が存続するよう、町内外の子どもが魅力を感じる特色ある教育活動を一層推進することが大切である。

### ■助言 北海道教育大学釧路校 大森教授

- 持続可能な地域社会の実現を図る教育が進められている。子どもたちは地域社会とつながりながら、自然や伝統文化、生活を学んでいる。今後は子どもの自己実現と地域の持続可能な発展が結びつくような取組を進めていく必要がある。
- 町長とのタウンミーティングなど、生徒の願いや思いを町の行政に反映させる場は非常に重要である。現在の子供たちは自分の意見を発表する力が弱い傾向にあることから、プレゼン能力を高めていくことが大切である。
- それぞれの活動で、生徒が「何を学んだのか」を分析する必要がある。その方法として、ルーブリック評価が効果的である。
- 子どもたちの地元へのネガティブ評価に対しては、ふるさとの見方・考え方についての新たな視点を示すなどにより、価値観を転換させる必要がある。



## ●本事業の各種取組や成果を学校ウェブページで紹介しています！

海洋生物・ダイビング実習の様子  
(羅臼高校ウェブページより)



4月からの本事業に係るアンケートの中で、保護者から「学校との情報共有が必要に応じて行われているが、計画的に行われていない」ことが課題としてあげられていました。

各学校ではこの課題を解決するために懇談会や学校通信等を用いて情報を発信しています。また、学校のウェブページでも、本事業の取組や成果を掲載しています。※本事業の成果については、根室教育局のウェブページにも掲載されています。

(<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/nky/>)

1年 競り見学・調理実習  
31日(木)に1年生で、競り見学と羅臼の食材を使った調理実習が行われました。競り見学では、羅臼の市場であげられる海産物はとても豊富なことなどを学びました。担当の方の説明を聞き、一生懸命メモをとる様子もありました。  
(春松中学校ウェブページより)



ふるさとキャリアだより

～私たちの町

羅臼から～

No.6

平成 29 年 12 月 25 日

根室教育局発行

### 小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業

羅臼町では、平成 27 年度からの 3 年間、地域の未来を担う人を育てるため、世界に誇る自然や産業などの教育資源を活用したキャリア教育に取り組んでいます。この活動には、地域の人々や関係機関から多くの協力をいただいております。積極的に関わることで、羅臼町全体が一層活気付けていくこともねらいの一つとしています。

## ●「北海道キャリア教育サミット」に参加しました

平成 29 年 10 月 31 日（火）  
ホテルライフォート札幌

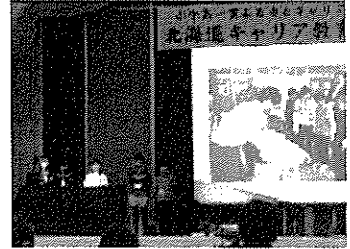
各小学校から 2 名ずつ、各中学校から 1 名ずつの児童生徒と 1 名の高校生の計 7 名が、町の代表として出席しました。

当日は、全道各地から発表者、引率、保護者、関係者など 170 名以上が参加した中で、自分たちが取り組んできた学習内容を堂々と発表しました。

小学生はクマ学習、中学生は羅臼町の PR パンフレットの作成と修学旅行における広報活動、高校生は知床開きでの豊漁の舞や創作料理プロジェクト、水産教室について取組内容と活動をとおして感じ、考えたこと、これから取り組みたいことなどをプレゼンしました。

限られた時間の発表ではありましたが、準備や練習を繰り返し行った成果が十分に表れていました。

地域 PR 活動では、漁組、商工会の協力による昆布と海洋深層水で作った塩（ラウシップ）のサンプル配布をとおして、羅臼の魅力をしっかり伝えることができました。羅臼町のブースには、人だかりができていました。



□□□□ YouTube 配信中 □□□□

当日の発表の様子が YouTube「北海道教育庁高校教育課」のチャンネルで配信されています。（H30.3.31 まで）すばらしい発表の様子を御覧ください。

## ●「第 7 回ユネスコスクール研究発表会」

平成 29 年 12 月 9 日（土）  
羅臼町立春松小学校

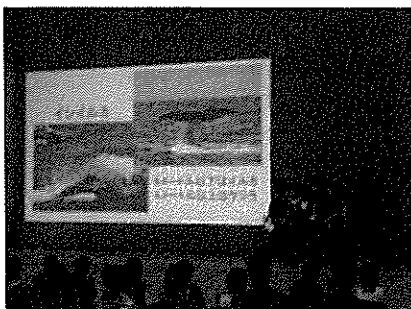
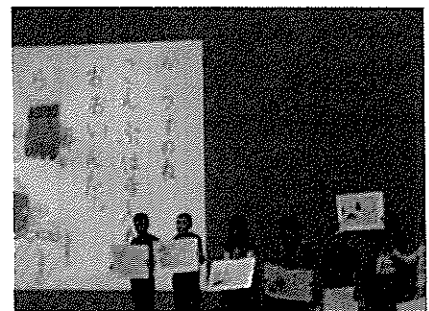
羅臼町では、町内の全ての小・中学校、高校で ESD（持続可能な開発のための教育）を推進しており、「知床学」「キャリア教育」を中心に、ふるさと羅臼町の魅力やよさを再発見し、未来を担う人材育成を目指しています。

1 年間の各校における ESD の取組と北海道教育委員会指定事業「小中高一貫ふるさとキャリア教育」の地域報告会を兼ねて開催した発表会の概要は次のとおりです。

<羅臼小学校 5 年生>

「羅臼昆布の秘密を探れ！～羅臼昆布はなぜ高級？～」

- ・道内の他の昆布生産地区と羅臼の製法の違いについて昆布漁師からの聞き取り等を通じて調査を行い、その結果を発表した。
- ・興味・関心を高め、理解を深めるため、クイズ形式で問いかけるとともに、羅臼昆布の製造過程や特徴などを「かるた」で表現するなどの工夫が行われていた。



<春松小学校 4 年生>

「羅臼のいいとこ、再発見！！」

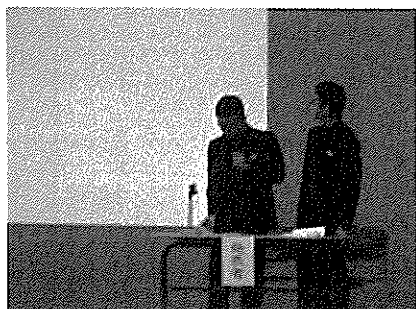
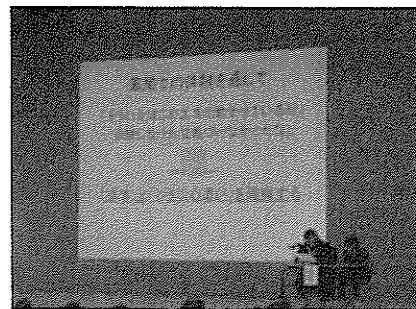
- ・羅臼には、クマやクジラ、オオワシなどの貴重な野生動物が豊富にいて、食物連鎖が優れていることについて説明した。
- ・地元の山「英嶺山」に実際に登り、羅臼には地元でも知る人が少ない、知床の海も知床岬も見渡せるすばらしい場所がまだまだあることや、羅臼にも酪農を営んでいる人がいることを発見し、紹介した。



<羅臼中学校2年生>

「職場体験学習で学んだこと」

- 職場体験を終えた2年生を代表して2名の生徒が体験内容やそこで学んだことなどを発表した。
- 小学校での職場体験では、怪我をさせないことに十分注意を払いながら、児童と交流を深めたことを発表した。
- 薬局での職場体験では、来客が満足するための「心遣い」の大切さを伝えた。



<春松中学校2年生>

「職場体験学習で学んだこと」

- 職場体験を終えた2年生を代表して2名の生徒が体験内容やそこで学んだことなどを発表した。
- 消防署での職場体験では、住民の命を守る大切さと大変さを知り、また、学んだ救命救急法を生かしたいことを発表した。
- 店舗での職場体験では、「働く」ことの意味を考える機会となったことを説明し、会場の参加者にも問いかけた。

<羅臼高校>

「羅高祭 2017~19年ぶりに復活した行灯行列～」

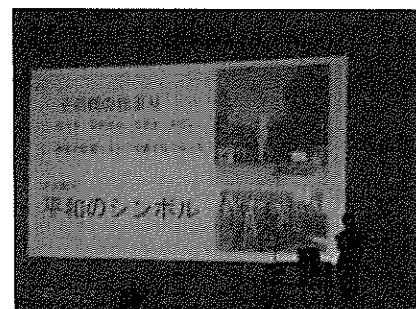
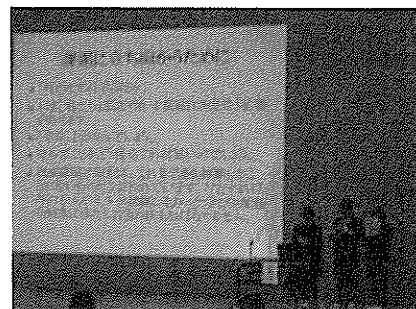
- 坂の上にある学校に地域住民が来ることは難しいであろうと考えた生徒会役員は、自分たちから町に降りていこうと考え、町民にも楽しんでもらえることを期待して「行灯行列」を復活させた経緯を紹介した。
- 手探りで製作に取り組んだ苦労と、その過程で生まれたかけがえのない仲間としての絆を感じた喜びを伝えた。

「私たちの知床学」

- 小学生から行ってきた「知床学」は、羅臼高校における活動で完結することを高校に入学してはじめて気づき、改めてその価値を実感することができたことを報告した。
- 小・中学生に対して、今、取り組んでいる「知床学」が、これからの「学び」を見つめ直すきっかけになることをメッセージとして伝えた。

「『平和スタディツアー2017 ヒロシマ』報告」

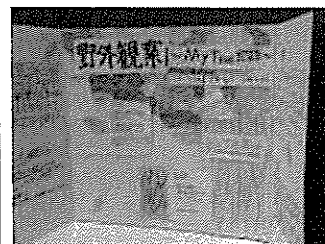
- 8月に広島に訪問し、原子爆弾による被害状況や千羽鶴のはじまり等について学んだことを報告した。
- 誰もが一度は、自分の目で直接見るべきであると強く訴えた。



幼児の作品

<会場の様子>

- 幼小中高一貫教育に取り組む羅臼町では、幼稚園の活動からESDをスタートさせることが大切であると考えている。当日は、幼児の発表が叶わないことから、羅臼に生息する動物の絵などの幼児の作品を会場に展示した。
- 羅臼高校の生徒が年間を通して観察した羅臼の樹木などの調査研究の成果を展示し、休憩時間にポスターセッションを行った。



高校生の調査研究

羅臼町の児童生徒は、外国から訪れた観光客や視察団、ユネスコスクール全道大会等において自分たちの取組を発表する機会が多く、プレゼン能力も高まっています。

当日も羅臼町長をはじめ、知床ユネスコ協会の役員、各学校の教職員などの多くの方々の前で、緊張しながらも分かりやすいプレゼンを心がけていました。

知床羅臼の人や自然、できごとなどに五感をとおして関わり、豊かな感性のフィルターで感じたこと、考えたことを自分の言葉で伝え、さらには自分の将来、町の未来にも思いを馳せていた姿はとてすばらしかったです。

ふるさとキャリアだより

～私たちの町

羅臼から～

No.7

平成30年3月 日

根室教育局発行

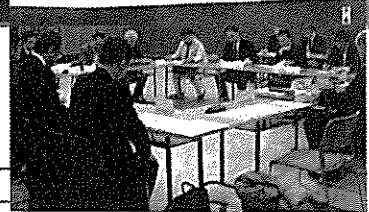
### 小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業

羅臼町では、平成27年度からの3年間、地域の未来を担う人を育てるため、世界に誇る自然や産業などの教育資源を活用したキャリア教育に取り組んでいます。この活動には、地域の人々や関係機関から多くの協力をいただいております。積極的に関わることで、羅臼町全体が一層活気付いていくこともねらいの一つとしています。

### ●平成29年度第3回根室管内地域未来づくり会議を開催しました

平成30年2月19日（月）、羅臼町公民館において、今年度の第3回根室管内地域未来づくり会議を開催しました。

3年間取り組んできた本事業の成果と課題を確認し、次年度以降の方向性について意見を交わしました。



#### 委員の感想

- ・羅臼のよさをたくさん発見したことが伝わるすばらしい発表である。
- ・発表力が高まっている。

#### ■ 取組の報告

- 10月31日開催「北海道キャリア教育サミット」
  - ・174人の出席者の前で自分たちの取組をプレゼンする映像を紹介
- 12月9日開催「ユネスコスクール研究発表会」
  - ・春松小4年生が調査した羅臼の特徴をプレゼンする映像を紹介
- 3年間の活動
  - ・地域の人との触れ合いや羅臼を訪れる人との交流を通して羅臼への興味・関心を高め、羅臼を愛する心情を育むことを目指した取組を紹介

#### ■ 3年間の成果と今後に向けて（委員からの意見等）

##### 成 果

- 自分たちが調べたことを踏まえ、町の未来や自分の将来の夢、目標を語る子どもの姿が多く見られるようになった。それは「羅臼が好き、自分のことが好き」という気持ちが育まれているからである。
- 多くの関係者と羅臼の次代を担う子どもに対する思いや願い、関わりの可能性等を交流できた「地域未来づくり会議」は、教育と行政、企業をつなぐ貴重な場である。
- 地域の伝統文化・産業・環境に目を向け興味をもち始めた子ども達を、「地域の未来を語り、そして拓いてゆく人」として育てるために、我々大人は、どのように行動し、何をしなければならぬかを真剣に考えていくきっかけをつくってくれた。

##### 今後に向けて

- 子ども達に「こんな町になると住みたい」など、町の未来について考え、発信する機会をさらに増やしていくことが大切である。
- すばらしい取組であるので、地域住民に広く周知するための情報発信を行い、企業だけでなく、祖父母世代を含めた地域全体が応援団となるようにする必要がある。
- 高校生が「羅臼で生活したいけれど就職先がなく残れない」と言っていることが残念である。地域の産業との結びつきを強めた取組を充実させていく必要がある。
- 就職先の拡充だけでなく、羅臼で起業する力を関係者が一体となって子ども達に育てていくことが大切である。



#### ■助 言 北海道教育大学釧路校 宮前准教授

- 地域全体で子どもを育てていくためには、①まずは取組をはじめ、②人が代わって継続する仕組みを整え、③持続可能な取組に発展させていくことが重要であり、これを進めないと定着はしていかない。この3年間は言うならば、取組をはじめた段階であり、次年度からは小中高の教員が一層、共通認識を深め、協働体制を整えながら仕組みづくりを進める必要がある。
- これまでの高等学校は、学力を高め、町を出て行く人を養成する装置であったが、これからは、地元を元気にできる力を育てることが役割となってくる。
- 子ども達に、「町の将来の展望」を提案させる取組は多くの学校や市町村で行っているが、その提案を大人がどう引き受けるかが今後、問われてくる。そのためには役場の企画部局等との連携が一層重要となる。
- 子ども達は、人と人とのつながりから新たな「アイディア」を生み出している。そうした経験を通して、これからの時代を生きていく上で必要とされる力が育っていくのである。

羅臼町では、3年間推進してきた本事業の成果等を踏まえ、次年度以降も幼小中高一貫教育を基盤としたユネスコスクールの取組を継続し、ふるさと羅臼への理解を深め、よりよい町にするために子ども達が主体的に考え、行動できる資質能力の育成をめざします。